



高円宮杯 2014ホッケー日本リーグ【女子】 第1節 第2日

開催日時 4月20日(日) 会場 山梨学院ホッケースタジアム 天候 曇り

【全試合結果】

第1試合	ソニー HC BRAVIA Ladies 4 $\begin{pmatrix} 0 - 0 \\ 4 - 0 \end{pmatrix}$ 0 グラクソ・スミスクライン Orange United
第2試合	山梨学院CROWNING GLORIES 3 $\begin{pmatrix} 2 - 0 \\ 1 - 0 \end{pmatrix}$ 0 東海学院大学

【各試合の結果・詳細】

第1試合

ソニー HC BRAVIA Ladies 4 $\begin{pmatrix} 0 - 0 \\ 4 - 0 \end{pmatrix}$ 0 グラクソ・スミスクライン Orange United

6 勝点
2 勝 0 分 0 敗

3 勝点
1 勝 0 分 1 敗

<得点>

SONY : 41分中川, 43分阪口, 44分永井葉, 68分深野

<戦評>

ソニー HC BRAVIA Ladies 対 グラクソ・スミスクライン Orange Unitedの試合はグラクソのセンターパスにより開始された。グラクソは2分, SONYは18分にPCを取得するも両チーム決める事ができず一進一退の攻防が続く。SONYは終了間際に何度もシュートチャンスを作るが、グラクソの堅い守備に阻まれ両チーム無得点のまま前半戦を折り返す。後半開始5分, SONYが中盤から落ち着いたパス回しで、ゴール前まで攻め込み、#5中川のプッシュシュートで1点とする。そこからSONYの猛攻が続く、8分#6阪口、10分#18永井葉が立て続けに2得点を決める。その後グラクソは、SONYの攻撃を抑え、ゴール前でチャンスを作るも、得点には至らない。終了間際、34分SONYは#8深野のシュートで得点とし、4対0で試合が終了した。

テクニカルオフィサー	市村 美幸	アンパイア	相馬 知恵子
ジャッジ	櫻本 千恵子・深澤 知美		木下 英貴

第2試合

山梨学院CROWNING GLORIES 3 $\begin{pmatrix} 2 - 0 \\ 1 - 0 \end{pmatrix}$ 0 東海学院大学

3 勝点
1 勝 0 分 1 敗

0 勝点
0 勝 0 分 2 敗

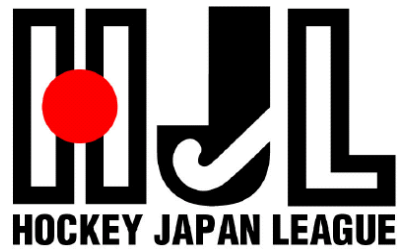
<得点>

山梨学院 : 8分近藤, 19分高田

<戦評>

山梨学院CROWNING GLORIES対東海学院大学の試合は、山梨学院のセンターパスによって開始される。開始早々山梨学院はPCを得て、8分#4近藤の豪快なヒットシュートで1点目とする。続けて9分、山梨学院#5山田がPSを取得するが、#4近藤は決め切れず、得点にはならない。一方、東海学院はゴール前まで攻めるが山梨学院の堅い守備に阻まれる。29分山梨学院はPCで#4近藤からのボールに#2高田が反応し、ダイレクトシュートで2点目として、前半戦を折り返す。後半開始直後、東海学院#29星にグリーンカードの警告が課せられる。両チームシュートチャンスを得るものの、決めることができない。44分、50分と東海学院、52分山梨学院がPCを取得するも互いに、粘り強いDFを見せる。その後、一進一退の攻防が続く中山梨学院は68分、華麗なパスワークから#5山田が正確に枠をとらえ、3-0とし、山梨学院が勝利する。

テクニカルオフィサー	市村 美幸	アンパイア	我妻 順子
ジャッジ	櫻本 千恵子・深澤 知美		野澤 達



高円宮牌 ホッケー日本リーグ 【女子】 第1節 第 2 日

開催日時 4 月 20 日 (日) 会場 親里ホッケー場 天候 曇

【試合結果】

立命館大学ホリーズ 勝点3 1勝1敗	3	$\begin{pmatrix} 2-0 \\ 1-0 \end{pmatrix}$	0	天理大学ベアーズ 勝点0 2敗
コカ・コーラウエスト レッドスパークス 勝点6 2勝	1	$\begin{pmatrix} 1-0 \\ 0-0 \end{pmatrix}$	0	南都銀行 SHOOTING STARS 勝点3 1勝1敗

立命館大学ホリーズ 3 $\begin{pmatrix} 2-0 \\ 1-0 \end{pmatrix}$ 0 天理大学ベアーズ

勝点 3
1勝1敗

勝点 0
2敗

3 PC 2
8 シュート 6

得点	立命→26分一谷、33分笠丸、37分塩入谷
戦評	<p>天理のセンターパスにより試合が開始された。序盤は両チームともに激しい攻防を繰り広げる。10分、立命はMF#14佐々木のパスを受けたFW#15笠丸がシュートを放つ、これは天理・GK#1景山が好セーブ。天理もFW#4森を中心に積極的に攻め込むが立命の堅い守備に阻まれる。26分、立命はFW#7坂井のシュートのこぼれ球を、MF#17一谷がリバースシュートでゴール左下に決め先制する。直後、天理は31分にPCを獲得。しかし、得点に繋げることが出来ない。33分、立命はFB#4山根のセントリングをFW#15笠丸がタッチシュートでゴール左上段に決め2-0と突き放し、そのまま前半終了。</p> <p>後半、立命は立ち上がりから激しい猛攻を仕掛け、37分、FW#9塩入谷がリバースシュートをゴール左下に決め3-0とする。その後は、両チームともに攻撃を仕掛けるが得点には結びつかない。1点がほしい天理は32分にMF#9辻井がドリブルでサークルインし、シュートを放つが立命・GK#1要石の好セーブにより阻まれ、試合終了。3-0で立命館大学ホリーズが学生対決を制した。</p>

テクニカルオフィサー	今庄充世		
ジャッジ	我妻活美 中野典子	アンパイア	壽山由樹 児玉茂樹

コカコーラウエスト
レッドスパークス 1 $\begin{pmatrix} 1-0 \\ 0-0 \end{pmatrix}$ 0 南都銀行
SHOOTING STARS

勝点 6
2勝

勝点 3
1勝1敗

1 PC 3
5 シュート 7

得点	コカ→ 21分西村
戦評	<p>南都のセンターパスにより試合が開始された。お互いに手の内を知りつくした両チームは開始早々から激しい攻撃で揺さぶりをかける。最初のチャンスは南都。カウンターからFW#10大塚がドリブル突破でサークル内にパス、FW#11西岡がレシーブミスで、チャンスをものに出来ない。21分、コカはFW#15川端のセントリングをMF#5西村がタッチシュートでゴール左下に決め先制する。これで勢いにのるコカは、その後、南都陣内で試合を進める。追いつきたい南都は前半終了間際にPCを獲得。しかし、得点することが出来ず、1-0でコカのリードで前半を折り返す。</p> <p>後半も両チームとも一進一退の攻防が続く。その後、両チームはチャンスをつくるがお互い得点出来ない。1点がほしい南都は、MF#8爲藤がサークル内にパス、コカ・FB#8小野がレシーブミス、そのこぼれ球につめた南都・MF#6吉川が無念の空振り、決定的なチャンスを逃す。その後、南都は64分にPCを獲得。FB#3眞鍋のフリックシュートはコカ・GK#吉川の好セーブにより阻まれる。その後も攻撃を続けるが得点出来ない</p>

テクニカルオフィサー	今庄充世		
ジャッジ	我妻活美 中野典子	アンパイア	山田恵美 根岸郁美